

2026年 消化器外科特別授業

消化器外科医には大きな病院での手術以外にも多くの活躍の場があります。今回は**地域医療で活躍**されている先生をお呼びして、大学病院とは違った外科医の魅力、苦労や成功までの道のりなど、楽しい話がいっぱいの講義をして頂きます。

『外科医と地域医療』

～地域医療の現場から届ける二人の外科医の声～

- ・日時 令和8(2026)年2月4日(水)16時～
- ・会場 総合診療棟東5階

第5カンファレンスルーム

◆参加希望の方はこちらまで urakami@md.okayama-u.ac.jp ご連絡ください。

講師：医療法人思誠会 渡辺病院

院長 遠藤 彰 先生



岡山大学の関連病院で消化器外科手術を手掛けた後に、平成12年より新見市の**渡辺病院**に着任。地域医療として救急医療や慢性期医療、リハビリ、健診などに広く従事する傍ら、岡山県の救急搬送体制や医療ネットワーク、災害医療などの協議会・コーディネーターを歴任。

平成23年より理事長として人材育成や地域貢献にも力を入れる。令和2年岡山県知事表彰(へき地医療事業功労)

講師：瀬戸内市立瀬戸内市民病院

外科 岡 凌也 先生



平成29年岡山大学「地域枠コース」を卒業後、初期研修を岡山大学病院、水島中央病院、岡山済生会病院で終え、平成31年より外科専攻医として、岡山大学病院、高梁中央病院、岡山済生会病院で外科研修。地域枠としては遠藤先生の下で渡辺病院(新見市)にて地域医療を学ばれ、令和5年より現在の瀬戸内市民病院にて若手外科医として地域医療の現場で活躍中。